



第16回
英語教育方法
研究七三十一

春季 2015年 3/22(日)～3/28(土)

主催：一般財団法人 国際教育振興会

後援：文部科学省 申請中

協力：日米会話学院

www.iec-nichibei.or.jp
www.nichibei.ac.jp

【ご挨拶】

第16回英語教育方法研究セミナーは、次代の青少年の世界観形成、進学・職業進路の選択などに重要な意味を持つ中等教育の実践に関わられる現職教員の方々を主たる対象として企画されています。

小学校、中等教育の現場で応用可能な英語教授法の多様な側面をご紹介します、受講者の皆さまにも参加して頂く、実践演習方式のクラス構成となっています。

中学・高校での英語教育は、単に高校や大学への進学準備のためのものに留まらず、次世代の青少年の職業選択、専門家としての技術訓練、次世代社会の指導者の育成にまでも大きく関わらるべきものであります。そのすべての基礎は中学・高校での学習・指導にあります。このセミナーが英語教育にかかわる皆様の有益なものとなりますよう、ご多忙とは存じますが、ぜひともご参加くださいますようお願い申し上げます。

一般財団法人 国際教育振興会 理事長
日米会話学院 学院長
大井 孝

【概要】

主催	一般財団法人 国際教育振興会 International Education Center (IEC)	後援	文部科学省 申請中	協力	日米会話学院
日程	2015年3月22日(日)～3月28日(土) 7日間 詳細は次ページ以降をご確認ください。			会場	日米会話学院校舎 (住所はお問合わせ先と同じ)
対象	小学校教員、中学・高校の英語教員、英語教員志望の大学生、英語教育に関心のある一般社会人など。				
申込方法	最終ページの募集要項をご確認ください。				
申込受付期間	2015年2月2日(月)～2015年3月14日(土) 申込順の受付で、定員に達し次第締切ります。定員に余裕のあるセッションは、募集期間終了後も各セッション開講日までお申し込みいただけます。各セッションの空き状況につきましてはお電話にてお問い合わせください。				

セッション	科目名	日程	時間(授業分)	定員	受講料	コード番号
1	伝わる英語の音読指導 ～絵本の読み聞かせ～	3/22(日)	10:00～12:40 (150分)	30名	4,620円	58001
2	英語嫌いを作らない！ ～英語の文字・綴り・発音をどう教えるか～	3/22(日)	13:40～16:50 (180分)	30名	5,550円	58002
3	音声指導の心・技・愛	3/23(月)	10:00～16:50 (330分) (昼休:12:40～13:40)	30名	10,170円	58003
4	英語で行う英文法授業 ～指示表現・簡易エッセイを題材として～	3/24(火)	10:00～12:40 (150分)	30名	4,620円	58004
5	思考し表現する力を育成するライティング指導	3/24(火)	13:40～16:50 (180分)	30名	5,550円	58005
6	アクティブ・リーディングセミナー Part 1&Part 2 ～4技能を鍛えるアクティブな授業/心を読み解く英語リーディング～	3/25(水)	9:30～16:50 (360分) (昼休:12:40～13:40)	30名	11,100円	58006
7	アクティブ・リーディングセミナー Part 3 ～世界を読み解く英語リーディング～	3/26(木)	9:30～16:50 (360分) (昼休:12:40～13:40)	30名	11,100円	58007
8	「学びの楽しさ」再体験 ～英語リスニング・読書会・名言会を軸に～	3/27(金)	10:00～16:50 (330分) (昼休:12:40～13:40)	30名	10,170円	58008
9	通訳メソッドでリスニング・スピーキング強化	3/28(土)	10:00～16:50 (330分) (昼休:12:40～13:40)	18名	10,170円	58009

※ 各セッションは質疑応答の時間を含みます。

※ セッション9「通訳メソッドでリスニング・スピーキング強化(58009)」は、LL教室使用のため、定員を18名とさせていただきます。

3月22日(日)

使用教材：プリント教材を教室にて配付します。

時間	科目名	使用言語	コード番号
10:00～12:40	セッション1 伝わる英語の音読指導 ～絵本の読み聞かせ～	日英	58001
<p>繰り返し音読することが、英語表現の定着、4技能の向上に効果があることは知られています。ネイティブスピーカーの発音、イントネーションをそっくり真似て、スピードについていければ、リスニング力はぐっと上がります。音感のいい生徒、上手に真似できる生徒もいますが、発音が真似できない、何を真似てよいのかわからない、スピードについてゆくことに一生懸命で、発音がおろそかになる生徒もいます。通じる英語発音の指導に、絵本を使い、中1の生徒たちが「伝わるための音読」＝「読み聞かせ」に挑戦した例をご紹介し、ワークショップ形式で参加者の皆さんにも体験していただきます。Global Englishとしての、「よい発音」とは何か。ネイティブスピーカーの発音＝よい発音か。「伝える」ことより「伝わる」ことを大事にした発音指導、音読指導をめざすなら、何を教えるべきか。音の区別、アクセントとリズム、イントネーションなどの解説をまじえ、実際に絵本を使って、「伝わるための音読」を目指した読み聞かせに挑戦。絵をクリティカルに読み取ることで、「言葉で絵を描く」ストーリーテリングにつなげます。</p> <p>講師： 荒井 恵子</p>			
時間	科目名	使用言語	コード番号
13:40～16:50	セッション2 英語嫌いを作らない！ ～英語の文字・綴り・発音をどう教えるか～	日英	58002
<p>文字や単語をただやみくもに繰り返し書いて覚えようとしている生徒はいませんか。単語の綴りとその発音は全く別物だと捉えている生徒はいませんか。綴りは書けるのにその単語が正しく読めないという生徒はいませんか。中1の早い段階で英語の文字が正確に書けるようになり、それ以降、無駄な労力を費やさずに単語の綴りを習得できるようになり、さらに、自信をもって正確な発音で単語を読めるようになる—そんな学習者を育てる指導法をご紹介します。</p> <p>講師： 手島 良</p>			

3月23日(月)

使用教材：プリント教材を教室にて配付します。

時間	科目名	使用言語	コード番号
10:00～16:50	セッション3 音声指導の心・技・愛	日英	58003
<p>どのような教授法を取るにしても教師として教材を「正しく」音声化できる能力は大前提となります。英語を英語で教えることが求められる現在、教師の適切な音声能力の必要性は以前にも増して高まっていると言えましょう。この講座では調音音声学の基礎知識の確認から始め、高校英語教科書の本文や英語の歌などを題材にして、受講者の方が「モデル」としてふさわしい音声が生産できるよう導きます。他の英語教員研修ではないであろう「自分の英語発音についてダメ出しをされて向上する機会」を求める方の受講を期待します。</p> <p>講師： 静 哲人</p>			

3月24日(火)

使用教材：プリント教材を教室にて配付します。

時間	科目名	使用言語	コード番号
10:00～12:40	セッション4 英語で行う英文法授業 ～指示表現・簡易エッセイを題材として～	英	58004
<p>指示表現：簡易エッセイを題材として、4パラグラフ構成の英文エッセイを使いながら、「主語、動詞、代名詞の一致という基本的な文法事項を、英語使用で教える」という状況設定で行います。英語を使った具体的な指示の出し方、説明方法の実例を御紹介します。文法説明にとどまらず、多くの日本人が間違っで覚えている発音等の指導法も扱います。使用するエッセイは、簡単な内容ですが、主語になるのが、every、each、clothes、clothing等、なかなか曲者(tricky)です。主語、動詞、代名詞の一致はもちろんのこと、初級学習者が苦手とする単数・複数、可算・不可算名詞についても、説明をします。なお、この授業は、すべて英語で行います。受講者の方に、生徒役になって授業の実践に参加していただきます。皆さんの学校授業でお使いいただけるよう英語の指示表現をプリントしたものもお配り致します。</p> <p>講師： 斉藤 洋果</p>			
時間	科目名	使用言語	コード番号
13:40～16:50	セッション5 思考し表現する力を育成するライティング指導	日英	58005
<p>「書く」ということは、自分の頭の中にある考えを、整理しながら、読み手に伝わるよう、明瞭かつ論理的に文章を組み立てていくことです。英語という言語は、ことに論理性と明晰性を要求するものです。英語で文章を書くことにより、論理的思考力が鍛えられると考えます。また、書く考えが浮かばないという生徒を豊かな内容が書けるように導いていくための教授法、そして、新しいライティングの評価法もご紹介します。</p> <ol style="list-style-type: none"> I. この10年間の中高生のライティング力を振り返る。 II. 豊かなアイデアを生み出す工夫あれこれ。キュー・カードを利用した実践、five-squire writingを取り入れた実践等 III. 思考力を涵養するライティングを目指して IV. ライティングの評価を考える V. まとめ <p>講師： 大井 恭子</p>			

3月25日(水)

使用教材：プリント教材を教室にて配付します。

時間	科目名	使用言語	コード番号
9:30～16:50	セッション6 アクティブ・リーディングセミナー Part 1 & Part 2 ～4技能を鍛えるアクティブな授業／心を読み解く英語リーディング～	日英	58006

【Part 1】4技能を鍛えるアクティブな授業

「Input→Intake→Output」の指導手順を丁寧に追い、予習無しで実践的なアウトプット活動までを手引きする実践例を体験して頂きます。耳・口・手・頭・そして顔の表情も総動員し、生徒を絶えず動かして緊張感をほどかないアクティブなトレーニングを実践します。

- 4技能を鍛えるアクティブな授業の様々な実践事例
- 英語特有の「論理」を身につけ、読解力や発信力に結びつける指導の展開
- クラスを作るとは何か？英語教師が目指すべきこととは？

【Part 2】心を読み解く英語リーディング

テストを用いたアクティブな授業、心を読み解く教科書リーディング、名文暗唱・英語レシテーションへの発展的指導法など、「言葉と出会い、心を読み解く英語リーディング」の指導例について体験します。『5STEP アクティブリーディング』『論理を読み解く英語リーディング』の著者が、英語力向上のトレーニング方法のみならず、生徒と生徒・生徒と教師の心をつなぎ、笑顔に溢れ、豊かな表現を育む授業のあり方について、実践を通して解説します。

- 4技能を鍛えるアクティブな授業の様々な実践事例
- 英語特有の「論理」を身につけ、読解力や発信力に結びつける指導の展開
- クラスを作るとは何か？英語教師が目指すべきこととは？

講師：和田 玲

3月26日(木)

使用教材：プリント教材を教室にて配付します。

時間	科目名	使用言語	コード番号
9:30～16:50	セッション7 アクティブ・リーディングセミナー Part 3 ～世界を読み解く英語リーディング～	日英	58007

ともすれば、長文リーディングの授業は大学受験指導に偏りがちです。しかし、「読む」とは本来、「世界を知り、感じ、思考し、そして自分の考えを強化する」ための営みにほかなりません。「自己拡大の学び」といってもいいでしょう。世界には私たちに想像もできないような様々な光景が広がっています。英語リーディングの学びを通じて、世界の実態について触れ、目を開かれるような経験をする。またそれについて考え、議論し、自分なりの考えを英語で発信できるようにする。英語リーディングの授業では、そうした「実用技能の訓練」と「自己拡大のための学び」の両面を追求することが大切だと考えます。

ここ数年、私が実際に行ってきた授業計画に沿って、教材提示の方法やアクティブな指導展開、また自己拡大につながるような授業の仕掛け方などに関して、ワークショップ形式でご紹介致します。

午前の部では、【地球環境問題】に関して、どのように取り組み、目を開かせていくかについて。午後の部では、【国際社会問題】の一部とそれに対して【いま私たちにできること】について考えていきます。

講師：和田 玲

3月27日(金)

使用教材：プリント教材を教室にて配付します。

時間	科目名	使用言語	コード番号
10:00～16:50	セッション8 「学びの楽しさ」再体験 ～英語リスニング・読書会・名言会を軸に～	日英	58008

「知らないことを知るのが楽しい」「出来なかったことができるようになるのが楽しい」

英語教師としての原点には、誰もがそんな原体験を持っているのではないのでしょうか。しかし最近はどうでしょう。日々の仕事に追われて、そんな楽しみを忘れてしまっていないか？教師が「楽しい」と思っていることは、教え子にも広がっていくものですが、その逆も真なり。だとしたら、一度原点に立ち返って、楽しく学び、楽しく力を付けてみませんか？

本講座では、英語のリスニング・トレーニングを軸に、「コミュニケーションのポイント」「英語の発音」「リスニング力の伸ばし方」「インプットからアウトプットへのつなげ方」などのスキルの習得に実際に取り組んでいただきます。講義形式ではなく、参加者の皆さんにトレーニングに取り組んでいただき「出来た！」という喜びを体験していただければ幸いです。それに加え、「ミニ読書会」「ミニ名言会」を通して、自分の知的世界を広げることに挑戦しましょう。

事前課題があります。

1. 指定された音声ファイルのディクテーション
2. 本を1冊「3色ボールペン方式」(注1)で読み、その面白さを日本語で5分間以内にプレゼンできるように準備
3. 名言を1つ選び、それを自分の実体験に絡めて2分ほどで紹介できるように準備

(注1)「3色ボールペン方式」(詳しくはネット等でご検索ください)

「重要だと思うところ」に赤、「やや重要だと思うところ」に青、「自分が面白いと思ったところ」に緑で線を引き、情報の種類を分ける

講師：柴原 智幸

3月28日(土)

使用教材: プリント教材を教室にて配付します。

時間	科目名	使用言語	コード番号
10:00~16:50	セッション9 通訳メソッドでリスニング・スピーキング強化	日英	58009
<p>通訳の訓練方法には英語学習のヒントがたくさんあります。通訳メソッドを体験し、スピーキング・リスニング力を鍛えながら、生徒指導への活用法を探ります。このセッションでは、入ってくる情報をそのまま英語の語順で理解できるようにトレーニングをします。効率のよい口頭練習を行い、発音、イントネーションをチェックし、リスニング力・スピーキング力だけでなく、長文読解力の向上にもつなげます。</p> <p>昨年度に加え、単文、ダイアログ、センター試験リスニング、TOEICテスト、有名人のスピーチなど、目的別の様々な音声素材を取り上げ、ご自身のスキルアップを図ると共に、授業運営のヒントとなるような提案を致します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● クイックレスポンス ● スラッシュリーディング ● リピーティング ● オーバーラッピング ● シャドーイング ● スラッシュリスニング ● サイトトランスレーション <p>※トレーニングには、新教材を使用します。</p> <p>講師: 岡本 恵子</p>			

*TOEFL and TOEIC are registered trademarks of Educational Testing Service (ETS). This publication is not endorsed or approved by ETS.

講師

ARAI, KEIKO 荒井 恵子	マンハッタンビル大学大学院修士課程修了(TESOL)、東京外国語大学卒(アラビア語)。東京純心中学高等学校講師。日米会話学院講師。 著書:『英語で楽しむ日本昔ばなし』(IBCパブリッシング株式会社、共著)、『英語で楽しむ世界名作童話』(IBCパブリッシング株式会社、共著)、『英語で楽しむプリンセス・ストーリー』(IBCパブリッシング株式会社、共著)
OI, KYOKO 大井 恭子	千葉大学教育学部、大学院教育学研究科、連合大学大学院博士課程教授。文学博士(応用言語学・英語教授法)。ニューヨーク州立大学ストーニー・ブルック校大学院言語学科博士課程修了。東京大学文学部英語英米文学科卒業。 主な著書:『「英語モード」でライティング』(講談社インターナショナル)、『英語論文・レポートの書き方』(研究社出版、共著)、『英語で書くコツ教えます』(桐原出版、共著)、『クリティカル・シンキングと教育』(世界思想社、共著)
OKAMOTO, KEIKO 岡本 恵子	日米会話学院講師。 津田塾大学卒(英文学)、フリーランス翻訳者。
SAITO, HIROMI 斉藤 洋果	早稲田大学国際教養学部非常勤講師(学術英作文、ビジネス英語提案、TOEFL準備指導)。英語教育コンサルタント。フリーランス通訳・翻訳者。 ニューヨーク大学大学院M.A., Ph.D.(多言語・多文化研究TESOL 英語教授法)。獨協大学外国語学部ドイツ語学科卒。元ニューヨーク大学大学院教育学部講師、同大学付属英語学校ALI講師、ニューロシェル大学大学院講師、プラット・インスティテュート付属英語学校講師、ニューヨーク市立大学クイーンズ校付属英語学校講師、ニューヨーク州立ナッソー・コミュニティカレッジ付属英語学校講師。ブルックリン・ガムラ大学英語教育学部部長代理。元慶應義塾大学、テンプル大学ジャパン非常勤講師。
SHIBAHARA, TOMOYUKI 柴原 智幸	神田外国語大学専任講師。同時通訳者。 上智大学外国語学部英語学科卒業。NHK放送通訳者。英バース大学大学院通訳・翻訳コース終了。 1998年から2002年までBBC日本語部で放送通訳者として勤務。帰国後、NHK放送通訳や「ディスカバリーチャンネル」などでの吹替え用映像翻訳、通訳養成学校での指導を行う。2011年4月よりNHKラジオ講座「攻略! 英語リスニング」講師。
SHIZUKA, TETSUHITO 静 哲人	大東文化大学外国語学部英語学科教授。専門は英語授業方法論、言語テスト論。 大妻中学校・高等学校、福島工業高等専門学校、関西大学、埼玉大学を経て、現職。英語能力測定評価研究会(VELC研究会)会長、「静流英語授業道家元」。小学生から現職教員まで教える。 英国レディング大学 言語科学科博士課程修了(Ph. D)。コロンビア大学大学院ティーチャーズカレッジ修士課程修了(TESOL)。東京外国語大学外国語学部卒。 主な著書:『英語授業の心・技・体』(研究社)、『絶対発音力』(ジャパントイムズ)、『英語授業の心・技・愛 一・小・中・高・大で変わらないこと』(共著・研究社)その他、著書多数
TESHIMA, MAKOTO 手島 良	武蔵高等学校中学校教諭、一般財団法人語学教育研究所理事長。 英国レディング大学修士課程修了(応用言語学)、東京外国語大学英米語学科卒。 ロンドン大学音声学科客員研究員(2010年度)、NHKラジオ『基礎英語3』講師(2002~2004年度)。 著書:『英語の発音・ルールブック』(NHK出版)、『通じる英語の発音ドリル』(研究社)、など
WADA, REI 和田 玲	順天中学校・高等学校勤務。様々な英語授業研修会で講師を務め、生徒主体の活動的な授業方法の研究に精力的に取り組んでいる。テコンドーの達人でもあり、全日本大会では3回優勝、世界大会では個人戦3位の戦績をもつ。技術指導員としてアメリカ・ユース代表チームの指導にあたった経験もある。 著書:『5STEPアクティブ・リーディング』、『論理を読み解く英語リーディング』、『世界を読み解く英語リーディング』(アルク学参シリーズ)

■募集要項

●受講申込書

「第16回英語教育方法研究セミナー 春季」用の受講申込書にご希望の科目の名称、コードおよび必要事項を記入し、窓口に提出するか、FAX(03-3353-8908)にてお送りください。

(受講申込書は当財団窓口にて入手、または、ホームページ[www.iec-nichibei.or.jp / www.nichibei.ac.jp]からダウンロードが可能です。)

※FAXでお申し込みの場合は受信確認のため、送信後、電話(03-3359-9621)までご連絡ください。

●お申込受付期間

2月2日(月)～3月14日(土)

申込順の受付で、定員に達し次第締切ります。定員に余裕のあるセッションは募集期間終了後も各セッション開講日までお申し込みいただけます。各セッションの空き状況につきましてはお電話(03-3359-9621)にてお問い合わせください。

●受講料納入

受講料合計額をお申し込み後、5日以内に、以下までご納入ください。

振込手数料は、お客様負担とさせていただきます。

振込先: 三井住友銀行 麹町支店
口座名 一般財団法人国際教育振興会
口座番号 普通預金 2618244



●修了証明書

ご受講の皆様は「修了証明書」を、受講終了後にお渡しします。

●受講撤回時の取り扱い

1. 開講日の前日までの受講撤回
書面による申し出にて学費の全額を返却します。但し、返金手数料(1,000円)を差し引きます。
2. 学費の返却方法
原則、銀行振込にて返却します(当該書面／書類には振込先の銀行口座の番号等をご記載ください)。

●追加セッション

募集定員を超えてお申込を頂いたセッションに関しましては、講師とスケジュールを調整した上追加セッションを実施する場合があります。

お問い合わせ・ お申込み先	〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目21番地
	一般財団法人 国際教育振興会 「英語教育方法研究セミナー」係 藤倉 電話:03-3359-9621(代表) FAX:03-3353-8908 Eメール: info@nichibei.ac.jp Homepage: www.iec-nichibei.or.jp , www.nichibei.ac.jp

■ご参加された方の声

「英語教育方法研究セミナー」ご参加いただいた方々の声を一部ご紹介いたします。

目からウロコなことが多かった。大変感銘を受けた。勉強になると共に、教師としてやる気やモチベーションを与えていただけ大変素晴らしいセミナーだった。先生のプロ意識と人間性がすばらしい。
-2014年 手島講師クラス ご受講

今までの自分の指導法と違ったやり方で新学期をスタートすることが出来そうです。自分自身の誤解を正す良い機会になりました。具体例がわかりやすく、また多かったので非常に参考になりました。
-2014年 手島講師クラス ご受講

高校の教員です。今日のセッションの内容を小・中で徹底させてくれていればと思いました。今年受け持った先生の特徴が「読めるけど書けない」でした。どうすれば…と悩んでおり、今日のセッションを受けて、今後の光が見えました。単語の提示の仕方を反省しました。今のこのような生徒ができたのは自分の責任だと思います。「その発音だとスペルが覚えられないよ」言い続けます!!
-2014年 手島講師クラス ご受講

高校生の発音指導のヒントをたくさん得ることができました。生徒たちがつまずくところがわかったので、学んだことを新学期からの指導に活かしたいと思います。
-2014年 手島講師クラス ご受講

興味がありながら、勉強したことのない範囲だったので、目からウロコの出る授業でした。自分自身でもっと勉強し、授業を改善し、生徒のつづりと発音の悩みを解決できるような授業をしていきたいと思っています。
-2014年 手島講師クラス ご受講

自己流で身につけてしまった発音を客観的に見直すよききっかけとなりました。“言語はスポーツ”を実感しました。日頃ここまで発音を練習させたら学生はついてこないのではないか、とか遠慮してしまうところもありましたが、最低限通ずる音を目指すためには、教師の毅然とした態度も大切だと思いました。心地よく疲れました。

－2014年 静講師クラス ご受講

静先生は、発音指導はリスニングや英文の音読や暗唱を行う際に、常に指導できることを指摘されていた。そのためには、教師自身もミスしやすい発音を意識し、発音理論を学ぶことが重要である。授業内で教師が常に正しく発音できるようにしておくことは、「英語を教える際の絶対必要条件」なのだと思感した。

－2014年 静講師クラス ご受講

とても参考になりこれからのライティング授業に役立つ情報が多くありました。frameworkもその一つですが一つ疑問に思ったのは、日本語の作文評価がどの教科の先生も同じということ。「わかりやすさ」は大切なことですがそれだけではみんな同じ作文(頭の中)になってしまう。frameworkの個々の内容の充実、表現力を磨くことが重要だと思った。

－2011年 大井講師クラス ご受講

オーバーラッピングからのシャドーイングというようにレベルを上げていくことによって、実際に英語の理解力がぐんと高まることを身を持って体験できた。今日学んだことを現場に戻ったときに実践したいと思う。講座のレベルは大変高いのに、無理なく最後まで集中力を維持できたのは、岡本先生の優しく穏やかで、それでいて骨太な指導のおかげだと思いました。ありがとうございました。

－2014年 岡本講師クラス ご受講

自身の英語力向上のヒントをいただきました。また、生徒指導に役立つ方法もたくさん紹介していただきました。

－2014年 岡本講師クラス ご受講

大変勉強になりました。リスニング～シャドーイングを通してほかの技能の学習にも波及する活動だと思いました。

－2014年 岡本講師クラス ご受講

すべての生徒に対する優しい配慮に学ぶことが非常にありました。準備の周到さ、内容の深め方、生徒に必ず残る方法、復習の徹底、落ちこぼれが少なくなると思い、うちの学校では学ぶべきことが多かったです。

－2014年 和田講師クラス ご受講

実践的なトレーニング法に加え、class managementのためのTipsも折り混ぜられたinteractiveでテンポとキレの良い和田先生のセミナーとてもたのしく受講させていただきました。授業中にふんだんに盛りこまれた仕かけに上手に生徒のをせながら力をひきつけさせていく(自然とついていく…?)展開は圧巻です。たくさんのヒントとエネルギーを頂きました！ありがとうございました。両日のセミナーで学んだことを、今後どう還元していったらよいか考えつつ、引き続き学ぶ夏の後半にしたいと思います。

－2014年 和田講師クラス ご受講

日頃、英語という言葉教えることに気を配りすぎ、発音への配慮を忘れがちになっていたことに気が付いた。授業中、明確な指示を英語にするには、日頃から発音に注意し、話す内容に集中できるように練習を続けたい。

2014年 静講師クラス ご受講

今までどれほどきちんと発音していなかったのか…反省しました。一人一人、丁寧に発音を直して下さり、感謝しております。見本とならなければならない私たちができなくては本当に“サギ”に近いとおっしゃる通りです。今後、授業に行く前までにしっかりと本文を今まで以上に読み込み、指導できるよう努力を重ねるのみです。大変良い刺激になりました。ありがとうございました。

－2014年 静講師クラス ご受講

ライティングで重視すべきポイントがわかりました。英語のライティングだけではなく日本語のライティングにも活かせると思います。

－2011年 大井講師クラス ご受講

例文を多く使い受講生に考える時間をくれながら進めるスタイルが良かった。エネルギーがいっぱいで楽しめた。

－2011年 大井講師クラス ご受講

授業の質を上げるために参加しましたが、まず自分自身のスキルアップから始めなくてはと実感でき、大変良い刺激になりました。スキルズアップして、授業でスムーズに活用できるようにしていきたいです。

－2014年 岡本講師クラス ご受講

練習方法をわかりやすく説明して下さい、又、実践の時間も十分にあったので、今後に活かそうです。とてもmotivatingでした。授業にも使える活動でチャレンジしてみたいと思います。

－2014年 岡本講師クラス ご受講

長く教員をしてまだプロになりきれていない自分に気合をいれられる思いで必死の思いで参加し、メモをとりました。和田先生の講座は今回で3回目でしたが、新たな学び、気付きが得られ、参加して良かったと思いました。

－2014年 和田講師クラス ご受講

授業の導入、特に単語の導入の仕方やリスニング、音読のやり方は大変参考になりました。早速授業に取り入れてみたいと思う手法がたくさんあり、自分の授業にどう生かせるか、練り直してみたいと思います。英文が単なる言葉ではなく、生きたものとして感じさせるやり方は私自身も使ってみてみたいと思いました。素晴らしいセミナー。

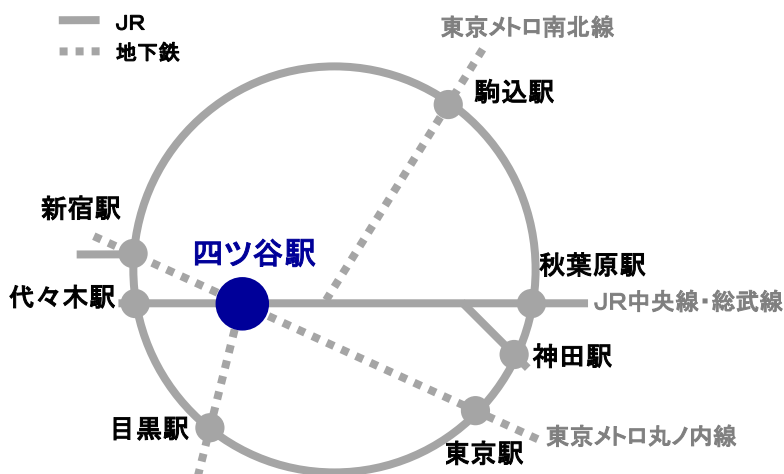
－2014年 和田講師クラス ご受講

最初から最後まで圧倒されました。テクニック自体もさることながら、それを越えた心を動かす授業の中で、生徒自ら気づき、大きく成長するものだと思います。トレーニングは大事だけど、それだけでは限界があるというところにも共感しました。教えていただいたことを基にこれからの授業向上に生かし、生徒たちに還元していきたいと思えます。

－2014年 和田講師クラス ご受講

アクセス

JR中央線・総武線/東京メトロ丸ノ内線・南北線



IEC International Education Center 一般財団法人 国際教育振興会

- 国際教育交流・異文化理解促進事業
- 英語・日本語等語学教育事業
- 日米会話学院 ● 日本語研修所

窓口お問い合わせ 平日： 9:00～20:00
土曜： 9:45～17:30
願書・学費取扱 平日： 9:00～19:30
土曜： 9:45～17:00

www.iec-nichibei.or.jp / www.nichibei.ac.jp

TEL 03-3359-9621 Fax 03-3353-8908

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目21番地

JR中央線・総武線/東京メトロ丸ノ内線・南北線
四ツ谷駅下車徒歩3分

お気軽にお問い合わせください。